

今後の汚水処理のあり方に関する検討会 (第6回) 議事概要

1. 日 時：平成 24 年 4 月 4 日(水) 18:00~18:30
2. 場 所：国土交通省 4 階 幹部会議室
3. 出席者：
森本農林水産大臣政務官、津川国土交通大臣政務官、高山環境大臣政務官
4. 議事概要

【政務官あいさつ】

○森本政務官

農林水産省では集落排水事業を進めており、3月30日に閣議決定された土地改良長期計画において位置づけされている。循環型社会の形成にも寄与すべく、汚泥のリサイクル等を図りながら事業実施を行っており、これからも、国交省、環境省と十分連携をとりながら進めていきたい。

○高山政務官

未普及の解消、水環境の保全のため、汚水処理施設のベストミックスを考えていかななくてはならないが、浄化槽は重要な役割を担うものと認識。また、浄化槽の管理面の向上や単独処理浄化槽の速やかな解消を図っていく必要がある。今後とも国交省、農水省と緊密な連携を図ってまいりたい。

○津川政務官

これまでも3省合わせて、さまざまな案件について1つのテーブルで議論させていただき、大変意味のある会合であった。今般、これまでの検討会の経緯、概要について中間とりまとめということでもまとめさせていただきたい。

【中間とりまとめ(案)について】

- 「今後の汚水処理のあり方に関する検討会」中間とりまとめ(案)について事務局より説明。
- 中間とりまとめ(案)について3省政務官で合意。